

## 一般動詞

### 1. 一般動詞ってなに？

be 動詞 (am, are, is) 以外のすべての動詞を「一般動詞」と呼びます。

「動作」や「心の状態」を表します。

・動作 : play (スポーツをする)、run (走る)、eat (食べる)

・状態 : like (好き)、know (知っている)、have (持っている)

#### 【基本公式】

主語 + 動詞 + ~.

(誰が→どうする→何を)

・ I play tennis. (私は テニスを します)

・ You like music. (あなたは 音楽が 好きです)

★日本語との違いに注意！

日本語は「私は テニスを します」と最後に動作が来ますが、英語は「私は します テニスを」の語順になります。「誰が」のすぐ次に「どうする」を言うのが鉄則です。

### 2. 否定文（～しません）

一般動詞の文で「～ではない」と言うときは、be 動詞のように not を置くだけではダメです。

お助けマンの「do (ドゥ)」を呼び出します。

#### 【否定の公式】

主語 + do not (don't) + 動詞 ~.

動詞の前に don't (ドント) を置きます。

・ I don't play soccer. (私はサッカーをしません)

・ I don't like natto. (私は納豆が好きではありません)

× I play not soccer. (間違い！)

× I not play soccer. (間違い！)

### 3. 疑問文（～しますか？）

質問するときも、お助けマンの Do を文の先頭に置きます。

#### 【疑問の公式】

Do + 主語 + 動詞 ~ ?

・ Do you play piano? (あなたはピアノを弾きますか?)

- Yes, I do. (はい、します)
- No, I don't. (いいえ、しません)
- Do you know him? (彼を知っていますか?)
- ✗ Play you piano? (間違い！ 動詞は前に出られません)

#### 4. 【超重要】絶対にやってはいけない「混ぜるな危険」

中学1年生が一番やってしまうミスがこれです。

1つの文に、be動詞と一般動詞を一緒に入れてはいけません。

✗ I am play tennis.

「私は = します テニス」という意味不明な文になります。

○ I play tennis. (動作なら playだけ！)

○ I am a tennis player. (イコールなら amだけ！)

「be動詞(=)」を使うか、「一般動詞(動作)」を使うか、どちらか1つだけ！